

PATLITE®

Signal Tower

For Network & Security Solutions

NHシリーズ
ネットワーク監視表示灯

NHE-3FB
NHM-3FB
NHC-3FB

取扱説明書




Rev. 1. 10






※この取扱説明書は本体ファームウェアVer1.10以降に対応しています。

株式会社 **パトライト**
PATLITE Corporation

安全にご使用いただくために

本書においてはNHシリーズを安全にご使用いただくために、注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」の3段階に分けて、下記のような教示と図記号で表しています。以下に記したマークを伴っている注意事項は、安全に関する重大な内容について述べていますので、熟読した上で正しくご使用ください。

 危険	危険：DANGER	取り扱いを誤った場合、死亡又は重症を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
 警告	警告：WARNING	取り扱いを誤った場合、死亡又は重症を招く可能性がある危険な状況が想定される内容を示します。
 注意	注意：CAUTION	取り扱いを誤った場合、軽傷又は中程度の障害を招く可能性のある状況、及び物理的損害の発生が予測される危険な状況を示します。

設計上の注意	 警告	<ul style="list-style-type: none"> ●人命や機器の破損にかかわるところや、緊急用の通信部に使用しないでください。また、本器の誤動作に対応できるシステム設計をおこなってください。
	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●各通信ケーブルは、動力線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないでください。ノイズによる通信エラーの原因となります。 ●原子力関連及び、公共重要設備へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
取り付け上の注意	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本器はマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。 ●一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。 ●下記のような場所に使用しないでください。故障、火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> ・腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤、研削液、切削油等に直接触れる場所 ・高温、結露、風雨にさらされる場所 ・振動、塩分、鉄分が多い場所 ・振動、衝撃が直接加わるような場所 ●機器への導入に際して、本器の主電源端子及び基板回路など容易に触れないように正しく取り付けてください。
配線上の注意	 危険	<ul style="list-style-type: none"> ●装置の組み立て、ケーブルの接続時には、必ず電源をOFFにしてください。感電や破損のおそれがあります。
	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本器への配線は定格電圧、定格電力を考慮して正しく端子に接続してください。定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。 ●本器内に導電性遺物が付着または入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
保守・運転中の注意	 危険	<ul style="list-style-type: none"> ●通電中は絶対に端子及び基板回路等に触れないでください。感電の恐れがあります。
	 注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本器の修理・分解・改造を(株)パトライト以外、もしくは(株)パトライト指定以外の第三者が行った場合、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

ご 注 意

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載する事は禁止されています。
- 本書に記載された内容は予告無く変更する場合があります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。
- 本製品の運用を理由とする、損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載される会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

1 概要	
1-1 はじめに	1
1-2 梱包内容	1
1-3 取り付け上の注意	1
1-4 外観と各部の名称	2
1-5 製品仕様書	6
1-6 本機器でできること	6
2 接続	
2-1 電源の投入	7
2-2 LANへの接続	7
2-3 IPアドレスの設定	7
2-4 オートネゴシエーション機能	8
3 動作モード	
3-1 動作モードの切替え	9
3-2 通常運転モード	9
3-3 テストモード	9
3-4 初期化モード1 (IPアドレスおよびログインパスワードの初期化)	11
3-5 初期化モード2 (工場出荷状態に初期化)	11
3-6 ファームウェア更新	12
4 各スイッチの機能	
4-1 CLEARスイッチ	13
4-2 RESETスイッチ	14
5 Webからのアクセス	
5-1 ログイン	15
5-2 ログアウト	16
5-3 システム設定画面	17
5-4 時刻設定画面	19
5-5 ユーザ設定画面	20
5-6 SNMP設定	21
5-7 rshサーバ設定画面	23
5-8 メール設定画面	25
5-9 メッセージ登録画面	27
5-10 送信TRAP設定画面	30
5-11 受信TRAP設定画面	31
5-12 受信TRAP一覧画面	32
5-13 受信TRAPイベント設定画面	34
5-14 PING監視一覧画面	36
5-15 PING監視設定画面	37
5-16 表示灯クリア設定画面	39
5-17 PHN-3FB設定設定画面	41
5-18 イベントログ画面	42
5-19 状態表示画面	44
5-20 コンフィグ設定画面	45
5-21 テストおよび再起動画面	46
6 コマンドリファレンス	
6-1 rshコマンド一覧	47
6-2 コマンドリファレンス	47
7 SNMPエージェント機能	
7-1 SNMPエージェント機能	49
7-2 SNMP SETによる制御	49
8 補修部品	
8-1 補修部品一覧	51
9 色配列組替え方法	
9-1 色組替方法	53

1

概要

1-1 はじめに

このたびは、株式会社パトライト「ネットワーク監視表示灯NHシリーズ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機器は、rsh・SNMPで簡単に制御が可能です。ネットワーク管理・監視ソフト、サーバ管理・監視ソフトやハード機器と連携して、光と音とメールで即座に異常や障害の発生を管理者にお知らせします。本機器は離れた管理・監視対象機器側または管理・監視機器側のどちらにも設置できます。ご使用に関しては、本書の内容を充分にご理解の上、正しくご使用ください。

1-2 梱包内容

設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成部品	
1.	本体 (1台)
2.	ACアダプター (1個)
3.	CD-R (1枚)* CD-Rの内容一覧 ・取扱説明書 . . . manual.pdf ・専用表示灯制御MIB . . . patlite_NH.mib ・お客様登録用紙/年間保証申込書 . . . customer_regist.pdf ・保証契約書 . . . guarantee.pdf ・修理依頼書 . . . repair.pdf
4.	ゴム足 (4個)
5.	ご使用になる前に (1枚)

*本体底面の8桁のシリアル番号が、『07～』、『08～』、『09～』で始まる製品にはCD-Rが添付されておりません。本体同梱の簡易取説を確認ください。

1-3 移動や取り付け上の注意

本機器を移動させる時、表示灯部を持って移動させないでください。故障やトラブルの原因となりますので、必ず、本体部分を持って移動させるようにしてください。

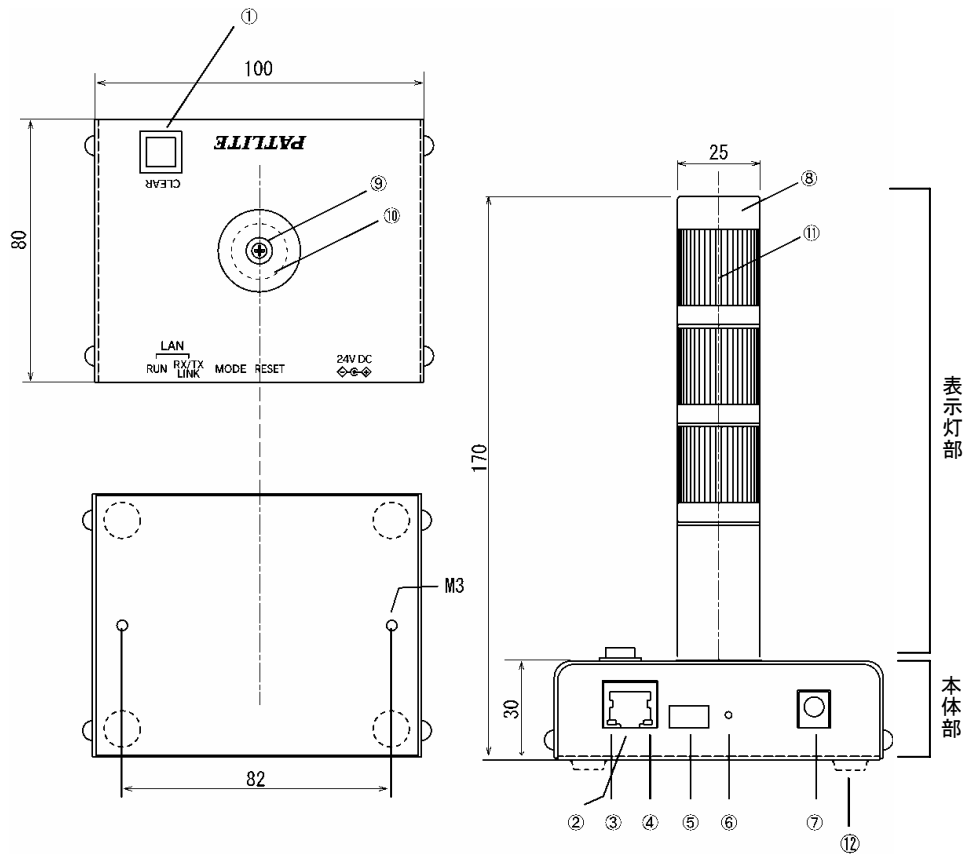
本機器の設置の際は、机の上などの水平な場所に置いてください。棚の上など高いところに設置する場合は、落下しないように本体の底部にあるネジ穴を利用してネジで固定してください。本機器は、水やお湯などのかからないところに設置してください。

本機器（本体、ACアダプター、CDおよびゴム足）は乳幼児の手の届くところに置かないでください。

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談下さい。

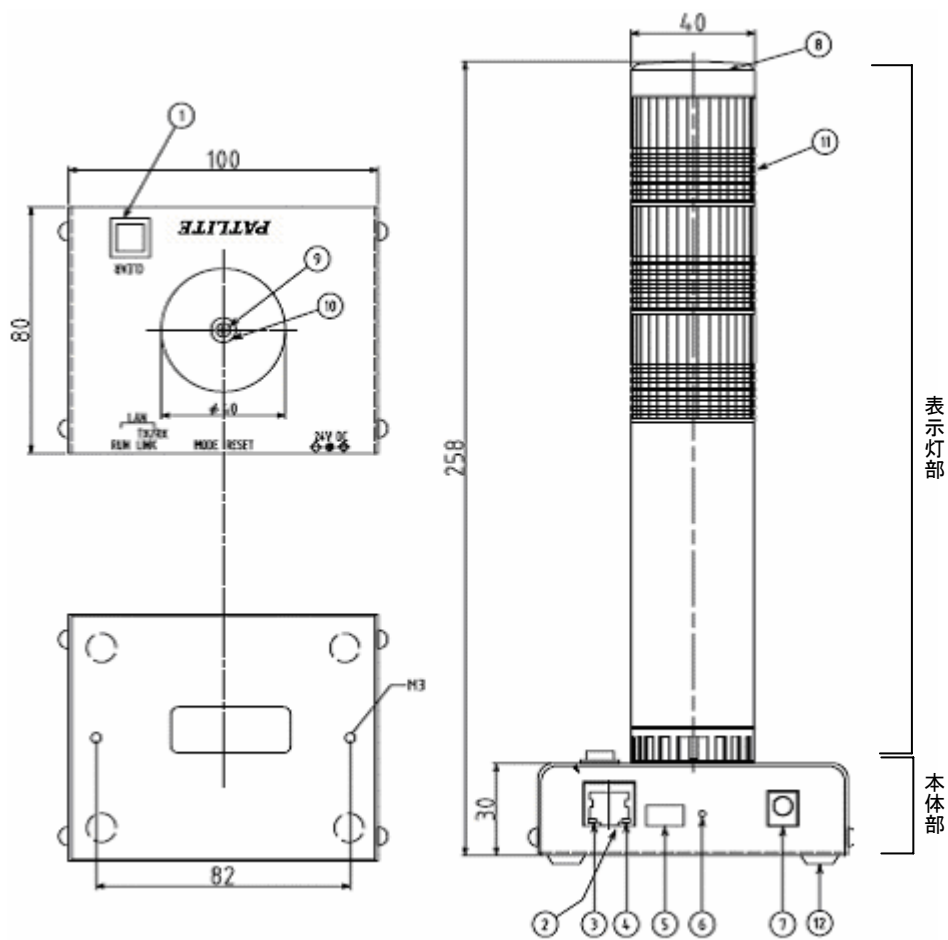
1-4 外観と各部の名称と製品仕様

NHE-3FB (本体) (寸法単位: mm)



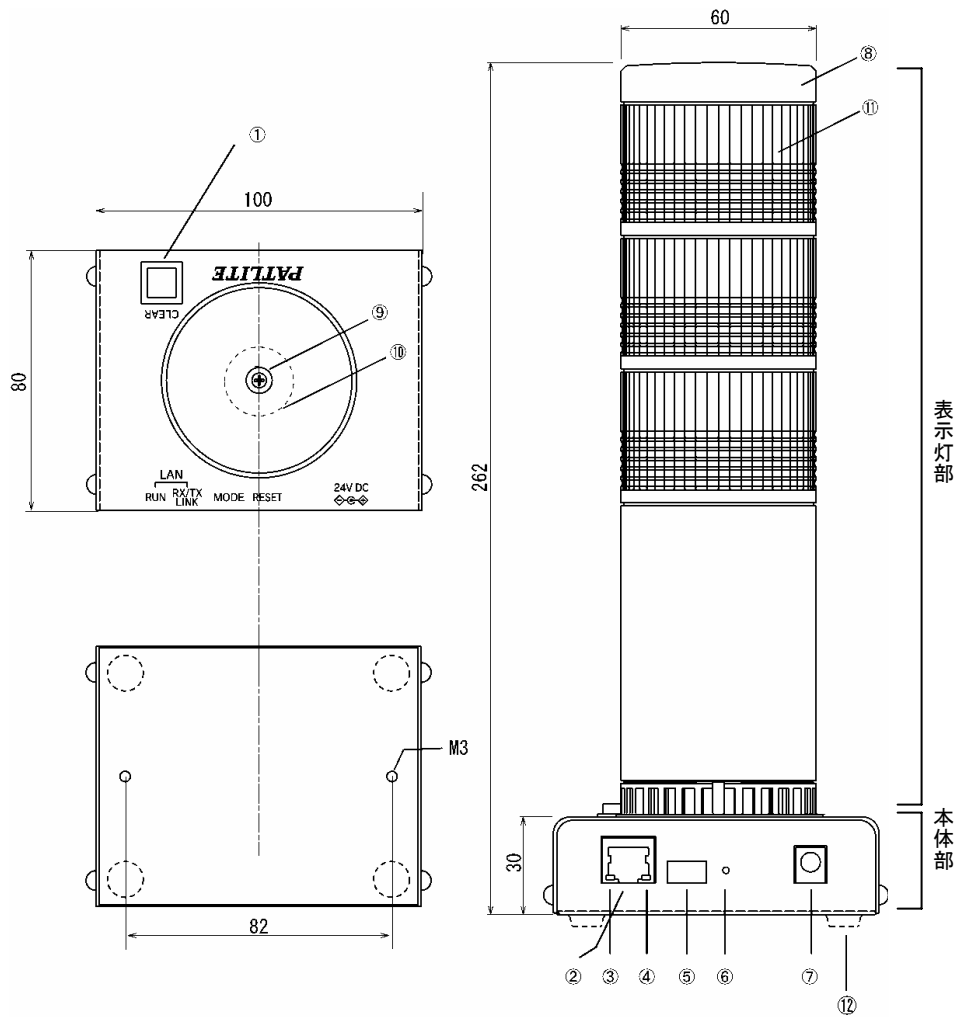
- ① CLEARスイッチ
- ② LANインターフェース (RJ45コネクタ)
- ③ RUN表示LED
- ④ LINK表示LED
- ⑤ MODEスイッチ
- ⑥ RESETスイッチ
- ⑦ 電源コネクタ
- ⑧ ヘッドキャップ
- ⑨ センターネジ
- ⑩ カバーシール
- ⑪ LEDユニット
- ⑫ ゴム足 (付属品)

NHC-3FB (本体) (寸法単位: mm)



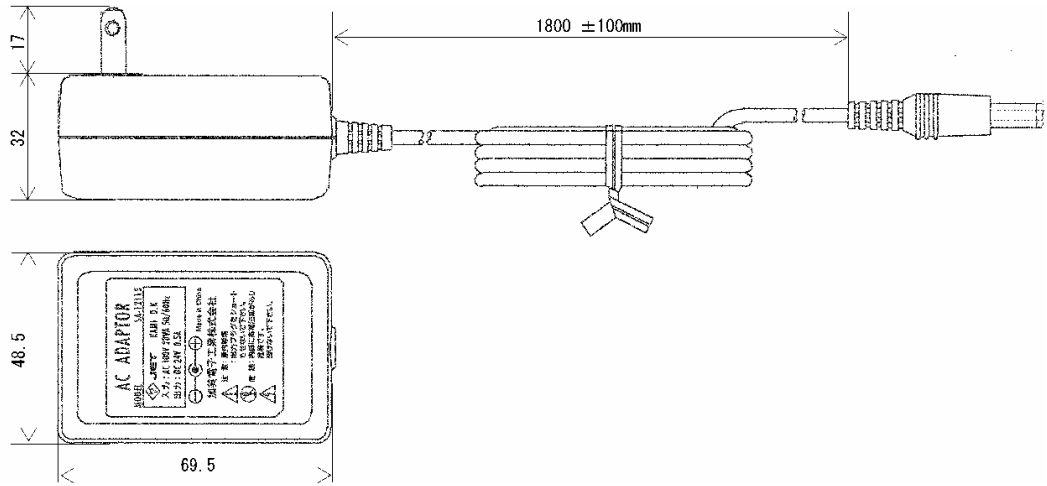
- ① CLEARスイッチ
- ② LANインターフェース (RJ45コネクタ)
- ③ RUN表示LED
- ④ LINK表示LED
- ⑤ MODEスイッチ
- ⑥ RESETスイッチ
- ⑦ 電源コネクタ
- ⑧ ヘッドキャップ
- ⑨ センターネジ
- ⑩ カバーシール
- ⑪ LEDユニット
- ⑫ ゴム足 (付属品)

NHM-3FB (本体) (寸法単位: mm)



- ① CLEARスイッチ
- ② LANインターフェース (RJ45コネクタ)
- ③ RUN表示LED
- ④ LINK表示LED
- ⑤ MODEスイッチ
- ⑥ RESETスイッチ
- ⑦ 電源コネクタ
- ⑧ ヘッドキャップ
- ⑨ センターネジ
- ⑩ カバーシール
- ⑪ LEDユニット
- ⑫ ゴム足 (付属品)

ACアダプター (NHE/NHC/NHM共通・付属品)



1-5 製品仕様

機 種 名		NHE-3FB-RYG	NHC-3FB-RYG	NHM-3FB-RYG
電源部				
定 格 電 圧	本体 : DC 24V、AC アダプタ : AC 100V			
定 格 周 波 数	50 / 60 Hz			
定 格 消 費 電 力	10.5 W	10.5W	13.5 W	
動 作 温 度	0~50°C (AC アダプタ除く)			
保 存 温 度	-10~60°C			
相 対 湿 度	20~80% (結露なきこと)			
使 用 環 境	屋内専用			
質 量	本体および表示灯部	0.37 kg	0.47kg	0.58 kg
	AC アダプタ	0.13 kg		
外 形 寸 法 (W、H、D)	本 体 部 (mm)	100×170×80	100×258×80	100×262×80
	表 示 灯 部	φ25	Φ40	φ60
LAN インターフェース仕様				
物 理 層	10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/IEEE802.3u)			
デ ー タ リ ン ク 層	CSMA/CD			
ネ ッ ト ワ ー ク 層	IP、ICMP、ARP			
ト ラ ン ス ポ ー ト 層	TCP、UDP			
ア プ リ ケ ー シ ョ ン 層	HTTP、SNMP、RSH、SMTP、POP、SNTP、TFTP			
通 信 速 度	10 Mbps / 100 Mbps (半二重固定)			
LED 表示灯仕様				
点 滅 周 期	60 回/分			
ブザー仕様				
吹 鳴 パ タ ー ン 1	ピ・ピ・ピ・ピ・ピ・ピ			
吹 鳴 パ タ ー ン 2	ピー・ピー・ピー			
音 圧 レ ベ ル	高 : 80dB at 1m 以上 / 低 : 70dB at 1m 以下 切替			

1-6 本機器でできること

本機器は、異常検出時に表示灯を点灯させたり、ブザーを鳴らすことができます。

- ・異常検出時に、メールやSNMPトラップにより通知することができます。
- ・リモートシェル(rsh)コマンドにより表示灯を制御することができます。
- ・pingによってネットワーク機器を監視することができます。
- ・SNMPトラップを検出することができます。
- ・コンフィグ設定をファイルに書き込んだり、ファイルから読み込んだりできます。

本機器は、LEDユニットを追加、組替えすることができます。「8 補修部品」を参照して、必要なLEDユニット、センターネジ、カバーシールをご購入いただき、「9 色配列組替え方法」を熟読の上、組替え作業を行ってください。(NHCでは組み替えに対応しておりません。)

最大で5段5色まで追加できます。同色のLEDユニットは、1台あたり3段までしか組み合わせできません。本機器の制御について本書では、5段5色に対応した説明を行っています。

各LEDユニット1段あたりの定格消費電力は以下の表のとおりです。

機 種 名			NHE型	NHM型
定 格 消 費 電 力	表 示 灯 部 (LEDユニット 1段あたり)	赤	1.2 W	2.6 W
		黄	1.2 W	2.6 W
		緑	1.0 W	1.0 W
		青	1.0 W	1.0 W
		白	1.0 W	1.0 W

2

接続

2-1 電源の投入

A Cアダプタを本機器に接続した後、A C 100Vのコンセントに接続してください。本機器には電源スイッチがありません。電源ケーブルをコンセントに接続した時点で本体に電源が投入されます。電源投入から本体が起動するまで（通信できるようになるまで）約 20 秒かかります。起動しますと本体部のR U N表示L E Dが、点滅することを確認してください。

2-2 L A Nへの接続

カテゴリ 5 対応ツイストペアケーブル（UTP または STP）を用いてください。本機器を HUB と接続する場合はストレートケーブルを、PC と直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。初めて本機器にアクセスする場合や、他のネットワークに設置してあったものを移動してきた場合は、I Pアドレスの設定作業が必要になります。

2-3 I Pアドレスの設定

本機器の工場出荷時の I Pアドレスは 192.168.10.1 です。設定に使用するPCの I Pアドレスを 192.168.10.2から 192.168.10.254 までの間で自由に変更してください。また、ネットマスク（サブネットマスク）を 255.255.255.0 に設定し、表示灯と設定用PCを接続してください。

PCのW e bブラウザから I Pアドレスを指定して接続し、画面に従い各種設定を行います。**各種設定の詳細は「5 W e bからのアクセス」を参照してください。**

W e bブラウザの対応バージョン

Internet Explorer 5.5 SP2 ~ 6

Netscape 6.2 ~ 7.1

イベントログ画面を表示するにはJ A V Aがインストールされている必要があります。

2-4 オートネゴシエーション機能

本機器は、100BASE-TX/10BASE-T に対応しており、ネットワーク環境に合わせて、通信速度が自動設定される仕組みになっております。

LANケーブルの抜き差しを行なった後に通信が回復されなかった場合は、本体をリセットしてください。

10BASE-T 固定で通信を行いたい場合、電源投入後、約 30 秒待つてからRUN表示LEDが点滅し始めるのを確認後、LANケーブルを接続してください。

3

動作モード

3-1 動作モードの切替え

表示灯の動作モードはMODEスイッチによって切替えることが可能です。

MODEスイッチの各ピンの機能は、以下のように定義されています。

各ピンの機能

ピン No.	用途
1	動作モードの切替え
2	
3	
4	ブザー音量（高⇄低）の切替え

(*) 通電中のMODEスイッチ切替えはピン No. 4 を除き無効。

動作モードの定義

ピン状態			動作モード
No. 1	No. 2	No. 3	
OFF	OFF	OFF	通常運転モード
ON	OFF	OFF	テストモード
OFF	ON	OFF	初期化モード1 (IP アドレスおよびログインパスワードの初期化)
OFF	OFF	ON	初期化モード2 (工場出荷状態に初期化)
ON	ON	ON	ファームウェア更新モード

ブザー音量の定義

ピン No. 4	ブザー音量
OFF	低
ON	高

(注) MODEスイッチの切替えは必ず電源を切ってから行い、設定が完了してから電源を入れてください。通電中にMODEスイッチを切替えた場合には、動作モードは変更されません。



3-2 通常運転モード

通常運用時はMODEスイッチを通常運転モードにして使用します。



3-3 テストモード

本体電源投入後、セルフテスト（メモリチェック、ネットワークのループバックテスト、表示灯点灯チェック、ブザー吹鳴チェック）を行います。

手順：

- (1) 電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (2) MODEスイッチをテストモードに設定する。
- (3) 電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
本体背面部のRUN LEDが点滅する。
- (4) メモリチェックが行われる。正常終了すると表示灯全段点灯する。
- (5) ネットワークのループバックテストが行われる。正常終了するとブザーが吹鳴する。
- (6) 表示灯が全段消灯し、ブザー吹鳴が停止する。
- (7) 赤⇒黄⇒緑⇒青⇒白の順に点灯する（LEDユニットが装着されている場合）。
- (8) 全段点灯後、ブザーが吹鳴する。
(本体のCLEARスイッチが押下されるまで、この状態を保持する。)
- (9) CLEARスイッチを押下する（0.5秒以上）と表示灯が全段消灯し、ブザー吹鳴が停止する。

テスト完了後は、電源を切った後、MODEスイッチを通常運転モードにして電源を再度入れてください。

(注) LANケーブルを接続したままでもテストは可能です。



3-4 初期化モード1

(I Pアドレスおよびログインパスワードの初期化)

I Pアドレス（ネットマスク、デフォルトゲートウェイ含む）およびログインパスワードの初期化を行います。

手順：

- (1) 電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (2) MODEスイッチを初期化モード1に設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (3) 本体背面部のRUN LEDが点滅することを確認する。
- (4) （しばらくの後）RUN LEDの点滅が止まり、点灯することを確認する。
- (5) （更にしばらくの後）RUN LEDが再び点滅することを確認する。
- (6) 点滅確認後、電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (7) MODEスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (8) I Pアドレス等の設定を行う（「5-3 システム設定画面」参照）。
（初期I Pアドレス：192.168.10.1 初期ログインパスワード：空白）。



3-5 初期化モード2（工場出荷状態に初期化）

全設定値を工場出荷状態に初期化します。

手順：

- (1) 電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (2) MODEスイッチを初期化モード2に設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (3) 本体背面部のRUN LEDが点滅する。
- (4) （しばらくの後）RUN LEDの点滅が止まり、点灯することを確認する。
- (5) （更にしばらくの後）RUN LEDが再び点滅することを確認する。
- (6) 点滅確認後、電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (7) MODEスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる。
- (8) I Pアドレス等の設定を行う（「5-3 システム設定画面」参照）。
（初期I Pアドレス：192.168.10.1 初期ログインパスワード：空白）



3-6 ファームウェア更新

本機器のファームウェアを更新します。

ファームウェア更新完了後は、工場出荷状態への初期化を行った後、通常運転モードにして運用してください。

手順：

- (1) 電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (2) MODEスイッチをファームウェア更新モードに設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (3) 本体背面部のLINK LEDが点灯し、RUN LEDが点滅する。
- (4) TFTPクライアントから更新用ファイルの本機器に転送する。
- (5) 更新用ファイルの転送が始まるとRUN LEDが点灯する。
- (6) 更新用ファイルの転送が終了し、ファームウェア更新処理が完了するとRUN LEDが点滅する。
- (7) RUN LEDの点滅確認後、電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (8) MODEスイッチを初期化モード2に設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (9) 本体背面部のRUN LEDが点滅する。
- (10) (しばらくの後) RUN LEDの点滅が止まり、点灯することを確認する。
- (11) (更にしばらくの後) RUN LEDが再び点滅することを確認する。
- (12) 電源を切る（コンセントからACアダプターを抜く）。
- (13) MODEスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる（コンセントにACアダプターを差し込む）。
- (14) IPアドレス等の設定を行う。
(初期IPアドレス：192.168.10.1 初期ログインパスワード：空白)

(注) ファームウェア更新時は、10BASE-Tで通信を行います。

4

各スイッチの機能

4-1 CLEARスイッチ

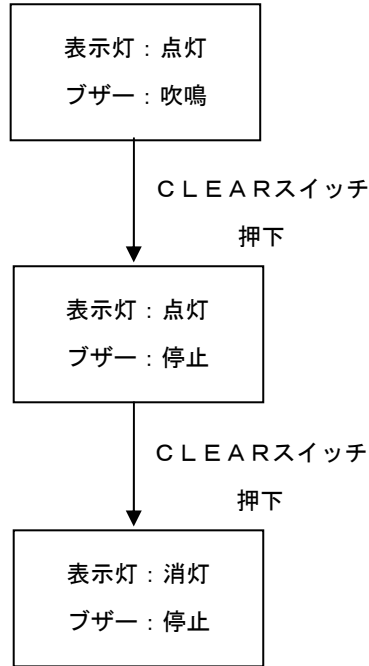
本体上面にあるCLEARスイッチを押下すると、強制的に表示灯を消灯させ、ブザーを停止させます。押下時間は約0.5秒以上です。CLEARスイッチの動作には以下の2つのモードがあります。

(1) 2段階クリア

ブザー吹鳴していればブザーだけを停止させる。表示灯は消灯しない。

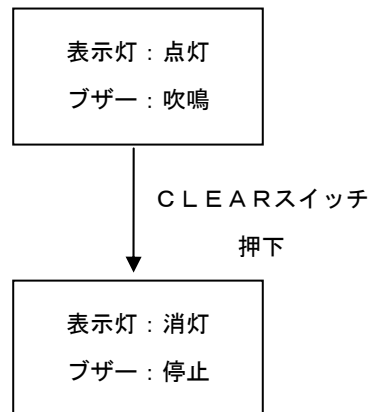
ブザー吹鳴していなければ、表示灯を消灯させる。

スイッチ復帰後約2秒以上あけなければスイッチ押下しても動作しません。



(2) 一括クリア

表示灯を消灯させ、ブザーを停止させる。



4-2 RESETスイッチ

RESETスイッチを押下すると、本機器は再起動します。

各種設定内容は保存されているため消去されませんが、イベントログが消去され、時刻情報が工場出荷時に戻ります。

電源の入切での再起動の場合も同様に、イベントログが消去され、時刻情報が工場出荷時に戻ります。



(注) RESETスイッチは壊れやすいので、先のとがったもので強く押さないでください。

5

Webからのアクセス



5-1 ログイン

本機器は、Webブラウザにより状態表示、設定変更などを行うことができます。

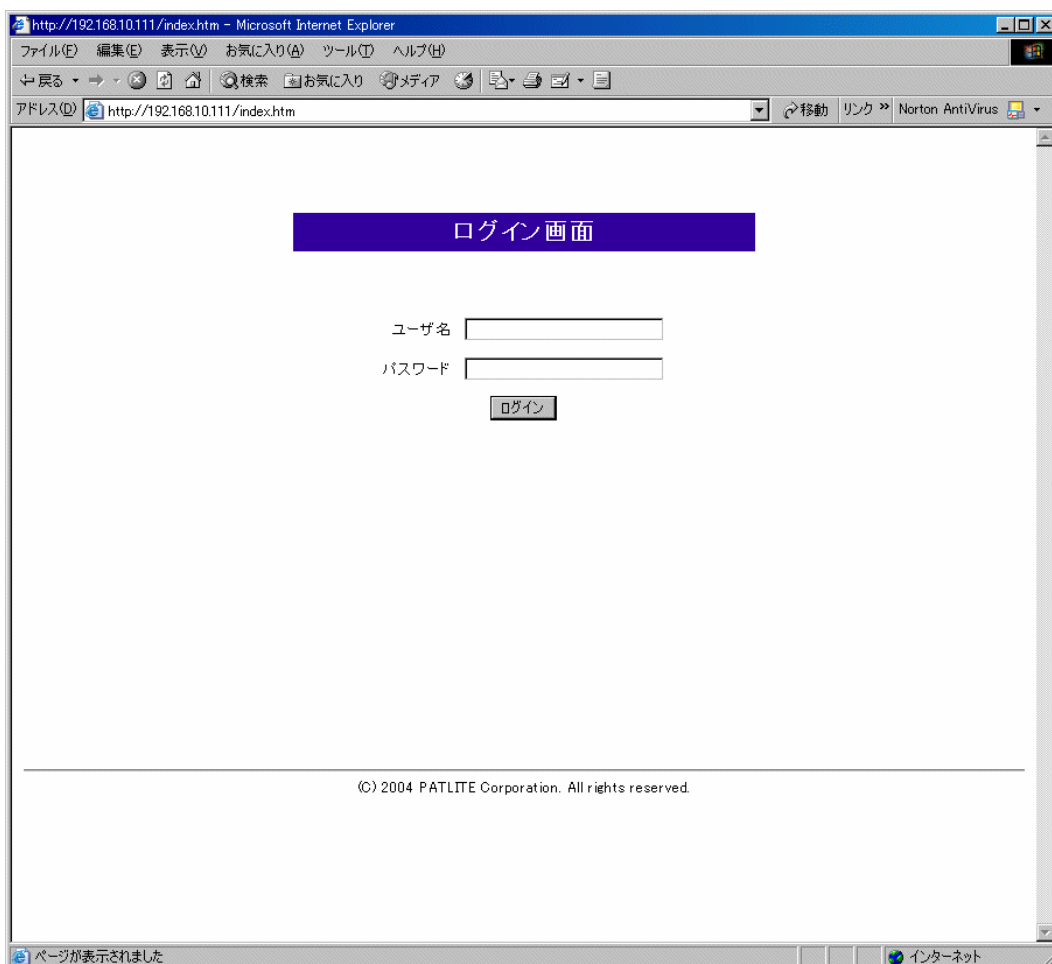
下記の手順にしたがって、本機器にログインしてください。

1. Webブラウザからログインするためには、本機器に設定したIPアドレスをWebブラウザアドレス部分に入力します。
工場出荷時のIPアドレスは、「192.168.10.1」となっております。
2. 下図のようなログイン画面が表示されます。
ユーザ名は、「patlite（半角、小文字）」を入力してください。
工場出荷時のパスワードは、設定されていません。
そのまま「ログイン」ボタンをクリックします。

画面が表示されない時は、通信条件「2 接続」を参照して、設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

プロキシサーバをご使用の場合は、Webブラウザの設定によりプロキシを使用しない例外として本機器のIPアドレスを設定してください。

ログイン後のWeb画面が正常に表示されない場合は、JavaScriptが有効に設定されていることを確認してください。



ログインユーザ数の制限：

本製品は、同時に二人以上、ログインすることはできません。

5-2 ログアウト

ログアウトするには、左側メニューから [ログアウト] ボタンを押します。
ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

自動ログアウト：

本製品は、長時間（約 10 分間）ログインしたまま放置すると、タイムアウトになり、自動ログアウトされます。

また、ログアウトせずに、Web ブラウザを閉じてしまうと、タイムアウトになるまで、別の端末からアクセスすることはできませんので、ご注意ください。

MEMO

タイムアウト後 Web ブラウザで設定を試みた場合は、「Access denied」と表示されます。その際は、再度ログインしなおしてください。

5-3 システム設定画面

システムに関する各情報の表示や変更を行います。

画面の説明	
システム情報	本機器のシステム情報を設定します。
ファームウェアバージョン	本機器のファームウェアバージョンを表示します。
システム名称	システム名称を設定できます。 この情報は、メールにも添付されます。(※1)
システム設置場所	システム設置場所を設定できます。この情報は、メールにも添付されます。(※1)
連絡先	トラブル発生時などの連絡先を設定します。この情報は、メールにも添付されます。(※1)

MEMO

※1 内容はお客様が、任意に書き込みができます。

入力制限： 最大 63 文字。

入力可能文字： 半角の英数字、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、
アットマーク (@)、ピリオド (.)

画面の説明		
ネットワーク 設定	本機器のネットワークに関する情報の表示や設定を行います。ブラウザからアクセスするために設定します。	
	MACアドレス	MACアドレスを表示します。
	本体IPアドレス (※2)	表示灯本体のIPアドレスを設定します。 ブラウザからアクセスする時、このIPアドレスを使用します。 デフォルト値：「192.168.10.1」
	ネットマスク (※2)	ネットマスクを設定します。 デフォルト値：「255.255.255.0」
	デフォルトゲート ウェイ (※2)	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。 不明な場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。 デフォルト値：「0.0.0.0」
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。	



※2 これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

5-4 時刻設定画面

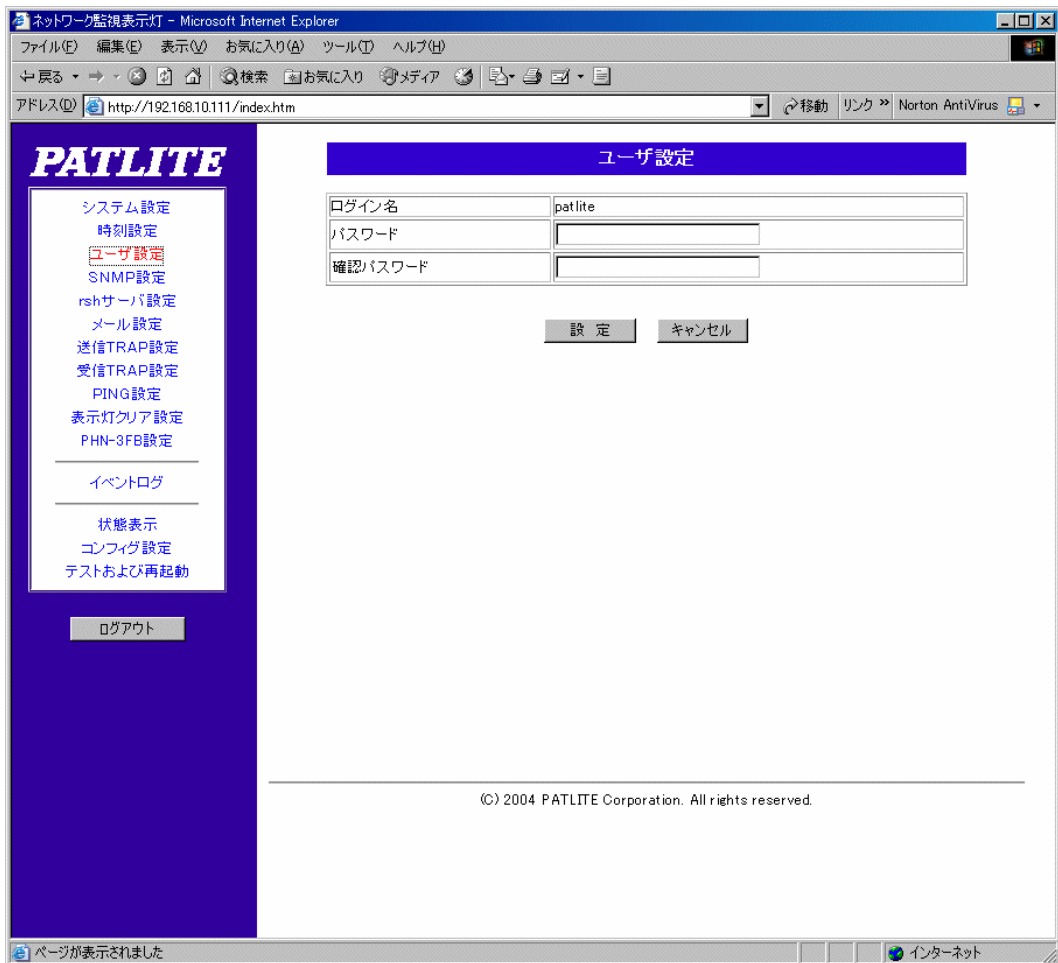
本機器は、内部電池を持っていないため、電源の入切や再起動を行うと、時刻情報が消去されてしまいます。

そのため、手動で時刻を設定したり、タイムサーバの設定をしたりする必要があります。

画面の説明		
時刻設定	装置時刻	現在の本機器の装置時刻を表示します。初期状態では、1970/01/01 の時刻が表示されます。
	手動時刻設定ボタン	現在アクセス中のコンピュータのシステム時刻を装置時刻として設定します。
タイムサーバ	サーバアドレス	タイムサーバが稼働中のコンピュータのIPアドレスを指定します。
	時間補正間隔(分)	定期的にタイムサーバにアクセスして時間補正を行う間隔(分)を設定します。 0(ゼロ)をセットすると、タイムサーバにアクセスしません。 デフォルト値: 10分 入力範囲: 0~10000
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。	

5-5 ユーザ設定画面

ログインユーザのパスワード設定を行います。

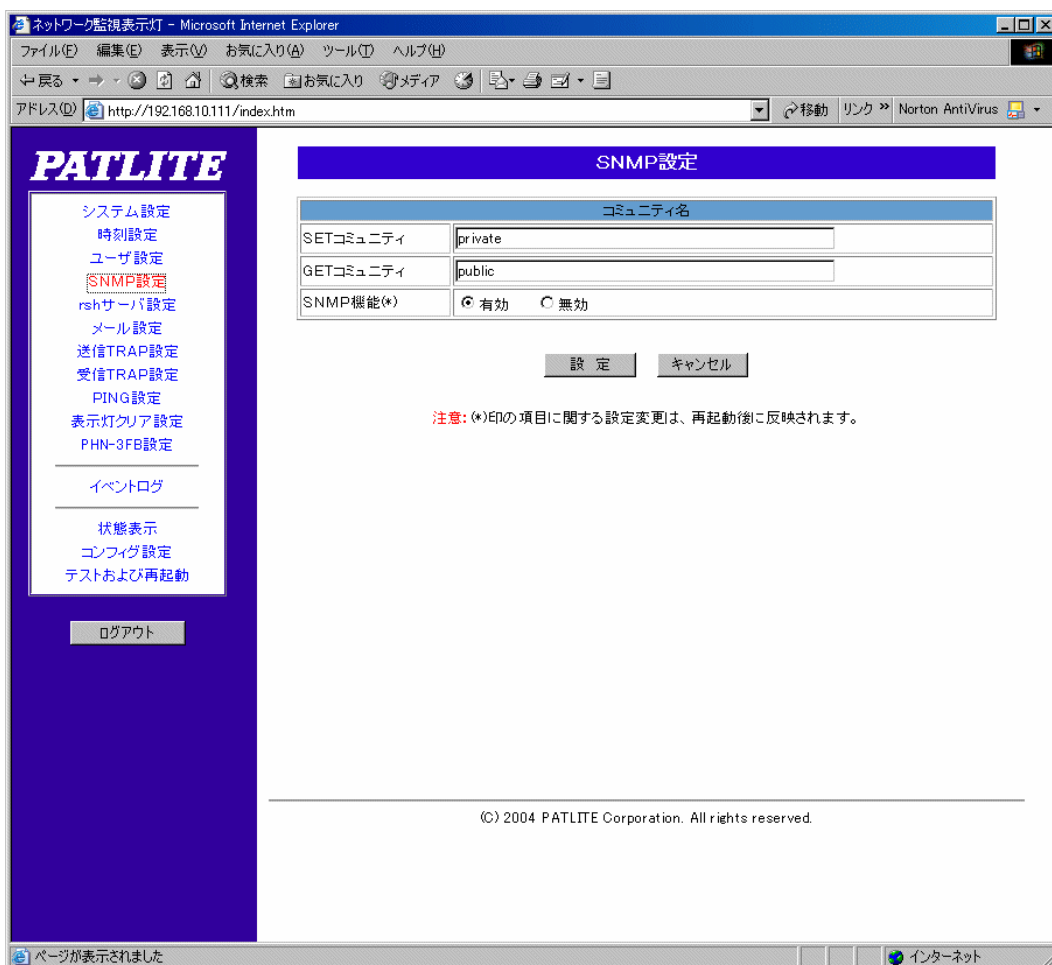


画面の説明		
ユーザ設定	ログイン名	デフォルト値：「patlite」です。 変更はできません。
	パスワード (※1)	ログイン時のパスワードを設定します。
	確認パスワード (※1)	入力したログインパスワードが間違いないことを確認するため、再度、同じパスワードを入力してください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。	

※1 入力制限： 最大 15 文字。
入力可能文字： 半角の英数字

5-6 SNMP設定

SNMP機能に関する設定を行います。



画面の説明		
コミュニティ名	SETコミュニティ (※1)	SNMP (マネージャなど) を使用し、本機器の各設定値をSETする際に使用するコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、SNMP (マネージャなど) によるSETを受け付けません。 デフォルト値: 「private」
	GETコミュニティ (※1)	SNMP (マネージャなど) を使用し、本機器の各設定値をGETする際のコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、SNMP (マネージャなど) によるGETを受け付けません。 デフォルト値: 「public」
	SNMP機能 (※2)	SNMPの有効・無効を設定します。SNMPによるSET、GET、TRAP送受信機能に影響します。 デフォルト値: 「有効」

画面の説明	
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。

※1 入力制限： 最大 31 文字。
入力可能文字： 半角の英数字

※2 これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

5-7 rshサーバ設定画面

rsh（リモートシェル）でアクセス可能なホスト（IPアドレス）およびログイン名などを設定します。

画面の説明		
rshサーバ	rshサーバ機能 (※1)	rsh（リモートシェル）機能の有効・無効を設定します。 デフォルト値：「有効」
	TRAP送信	rshコマンドが実行された時、「送信TRAP設定」で登録された送付先へrshコマンドが実行されたことを通知する機能です。 デフォルト値：「無効」
	メール送信	rshコマンドが実行された時、「メール設定」で登録された送付先アカウントへrshコマンドが実行されたことを通知する機能です。 デフォルト値：「無効」

MEMO

※1 これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

画面の説明		
接続許可制限	IPアドレス	rshコマンドの実行を受け付けるクライアントのIPアドレスを指定します。
	ログイン名 (※2)	rshコマンドの実行権限を持つユーザ名を指定します。 クライアントのIPアドレスとこのログイン名が合致しなければ、rshコマンドは実行されません。 rshコマンドの実行例は、コマンドリファレンスを参照してください。
	No. 9 から No. 16 へ (No. 1 から No. 8 へ)	rshコマンドの実行を許可するクライアントは、最大 16 台登録可能です。残り No. 9 から No. 16 への登録は、「No. 9 から No. 16 へ」リンクをクリックして行ってください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※2 入力制限： 最大 15 文字。

入力可能文字： 半角の英数字、アンダースコア (_)、ハイフン (-)、アットマーク (@)、ピリオド (.)

※3 rshコマンドを実行するコンピュータのログインユーザ名は、31 文字以内である必要があります。

<PRSH コマンド>

本製品専用コマンド「PRSH for Windows」を使用すれば、下記、制御が可能になります。

- ・表示灯の検索。リスト作成機能。
- ・リスト化した表示灯の一斉制御。
- ・SNMP による表示灯制御。
- ・指定時刻にコマンド実行。
- ・イベントログの取り出し。
- ・その他、タイムアウトやリトライなど詳細設定。

※ PRSH コマンドは、オプション品です。詳細については、別途、お問合せください。

5-8 メール設定画面

メールによる通報に関する各情報の設定を行います。

画面の説明		
サーバ設定	メールサーバ	現在設定されているSMTPサーバを設定します。 IPアドレスで指定してください。 デフォルト値：「0.0.0.0」
	POPサーバ	現在設定されているPOPサーバを設定します。 IPアドレスで指定してください。 デフォルト値：「0.0.0.0」
	POP認証ID (※1) (※2)	POP認証のためのユーザIDを設定します。 入力文字数制限：最大63文字。
	POP認証パスワード (※1) (※2)	POP認証のためのユーザパスワードを設定します。 入力文字数制限：最大31文字。



※1 メールサーバがPOP before SMTPを利用していない場合は、POP認証ID、POP認証パスワードを登録しないでください。

※2 入力可能文字： 半角の英数字、アンダースコア（_）、ハイフン（-）、アットマーク（@）、ピリオド（.）

画面の説明		
送信設定	送信元 I D	メール本文に記載する送信元 I Dを設定します。 システム設定で登録されている本体 I Pアドレス か、システム名称のいずれかを指定します。
	添付ログ件数 (0-10)	メールに添付するイベントログの件数を指定しま す。 最新のログから指定された件数のイベントログを 添付します。 デフォルト値：1件
	送信元アカウント (※3) (※4)	送信元のメールアドレスを設定します。 入力文字数制限：最大63文字。
	送信先アカウント	メールの送信先を設定します。 8件の送付先を設定できます。 入力文字数制限：最大63文字。
	メッセージ登録画面 へ	「メッセージ登録画面へ」をクリックすると、メー ルに記載するメッセージ内容を登録する画面が表 示されます。詳しくは、次項を参照してください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする 前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	



※3 ご使用のメールサーバによっては、存在しないアカウントからの送信は受け付けられない場合
があります。メールサーバの管理者に確認して設定を行ってください。

※4 入力可能文字： 半角の英数字、アンダースコア（_）、ハイフン（-）、
アットマーク（@）、ピリオド（.）

5-9 メッセージ登録画面

メールに記載するメッセージ内容を登録します。
各イベント毎にメールに記載するメッセージを設定することができます。

画面の説明		
メッセージ	TRAP受信	本機器がTRAPを受信した時のメッセージ。
	本体スイッチ押下	本体のCLEARボタンが押下された時のメッセージ。
	SNMP	SNMP（マネージャなど）により、表示灯やブザー音がクリアされた時のメッセージ。
	rshコマンド実行	rshコマンドにより、表示灯やブザー音がクリアされた時のメッセージ。
	無応答	設定回数連続してping応答がなかった時のメッセージ。
	応答再開	一旦、無応答状態になった後、再度、pingに回答するようになった時のメッセージ。
	rshコマンド	rshコマンドが実行された時のメッセージ。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

(注) 登録メッセージの文字数は、それぞれ全角 30 文字、半角 60 文字以内としてください。
半角「¥」マークは使用できません。

<メールの受信例>

指定されたTRAPを受信した時、送信されてきたメールの内容例です。

From: <nw@patlite.jp>
 To: <nw@patlite.jp>
 Sent: Saturday, January 01, 2000 12:02 AM
 Subject: Message from Signal Tower

システム設置場所 :
 送信元 ID : 192.168.10.1
 連絡先 : nw@patlite.jp
 メッセージ : トラップを受信しました
 付帯情報 : 192.168.10.2

2000/09/01 00:02:45	11	01	192.168.10.2
2000/09/01 00:00:40	13	01	000000 0
2000/09/01 00:00:28	13	01	002000 0
2000/09/01 00:00:05	01	00	-

添付ログ

↓ ↓

イベント番号 詳細情報

 ↓

 サブ番号

メール本文には、システム情報、イベントに関する内容（メッセージ）、イベントログ（添付ログ）が記載されます。
 添付ログの内訳は、イベント発生日時・イベント番号・サブ番号・詳細情報で、添付されるログの件数は、「5-8 メール設定」で行います。

添付ログは、イベント番号とサブ番号・詳細情報により、発生したイベントの情報を表します。それぞれの番号の意味は、下記の通りです。

イベント番号	サブ番号	詳細情報と各番号の説明
01	00	本体電源が投入されたことを表します。
03	00	SNMPにより不正アクセスされたことを表します。
07	01	メール送信が設定されている時、メールサーバとの通信において、タイムアウトになったことを表します。
07	02	メール送信が設定されている時、メールサーバとの通信において、サーバに接続できなかったことを表します。
07	03	メール送信が設定されている時、POP認証に失敗したことを表します。
10	00	ping 監視異常が発生（指定回数連続して ping 応答がない）したことを表します。詳細情報として、ping 監視相手先の IP アドレスを添付します。
10	01	ping 監視異常が発生後、ping 応答が回復したことを表します。詳細情報として、ping 監視相手先の IP アドレスを添付します。

イベント番号	サブ番号	詳細情報と各番号の説明
11	※1	指定されたTRAPを受信したことを表します。詳細情報として、TRAPの送信元IPアドレスを添付します。
12	01	本体のCLEARスイッチが押下されたことを表します。
12	02	SNMPにより、本体の表示灯クリア処理が実行されたことを表します。
12	03	rshコマンドにより、本体の表示灯クリア処理が実行されたことを表します。
13	※2	rshのalertコマンドが実行されたことを表します。詳細情報として、alertコマンドのコマンドオプションを添付します。
13	20	rshのstatusコマンドが実行されたことを表します。
13	21	rshのtestコマンドが実行されたことを表します。
14	01	SNMPにより、赤色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。
14	02	SNMPにより、黄色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。
14	03	SNMPにより、緑色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。
14	04	SNMPにより、青色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。
14	05	SNMPにより、白色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。
14	06	SNMPにより、ブザーが制御されたことを表します。詳細情報として、制御元のIPアドレスを添付します。

※1 受信したTRAPの内容を「5-11 受信TRAP設定」の設定番号により表します。

※2 rshコマンドを実行したサーバ情報として、「5-7 rshサーバ設定」の設定番号を記述します。

5-10 送信TRAP設定画面

SNMP TRAPによるイベント通報に関する各情報の設定を行います。

画面の説明		
送信TRAP設定	送信TRAPコミュニティ	SNMPマネージャなどに対し、発生したイベントを通知する際のコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、SNMPマネージャ側がTRAPを受け付けません。(※1) デフォルト値：「public」
	TRAP送信機能	TRAP通知機能の有効・無効を選択します。 他の設定項目をすべて登録しても本機能を有効にしなければ、TRAPは送信されません。 デフォルト値：「無効」
	TRAP送信先IPアドレス	TRAP送信先を設定します。 IPアドレスを入力してください。
	TRAP送信先送信回数	TRAPの送信の回数を設定します。一つのイベントに対して設定された送信回数分の同じTRAPを送出します。 送信回数は0～10回で、0に設定するとTRAPを送信しません。 送信間隔は約5秒です。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

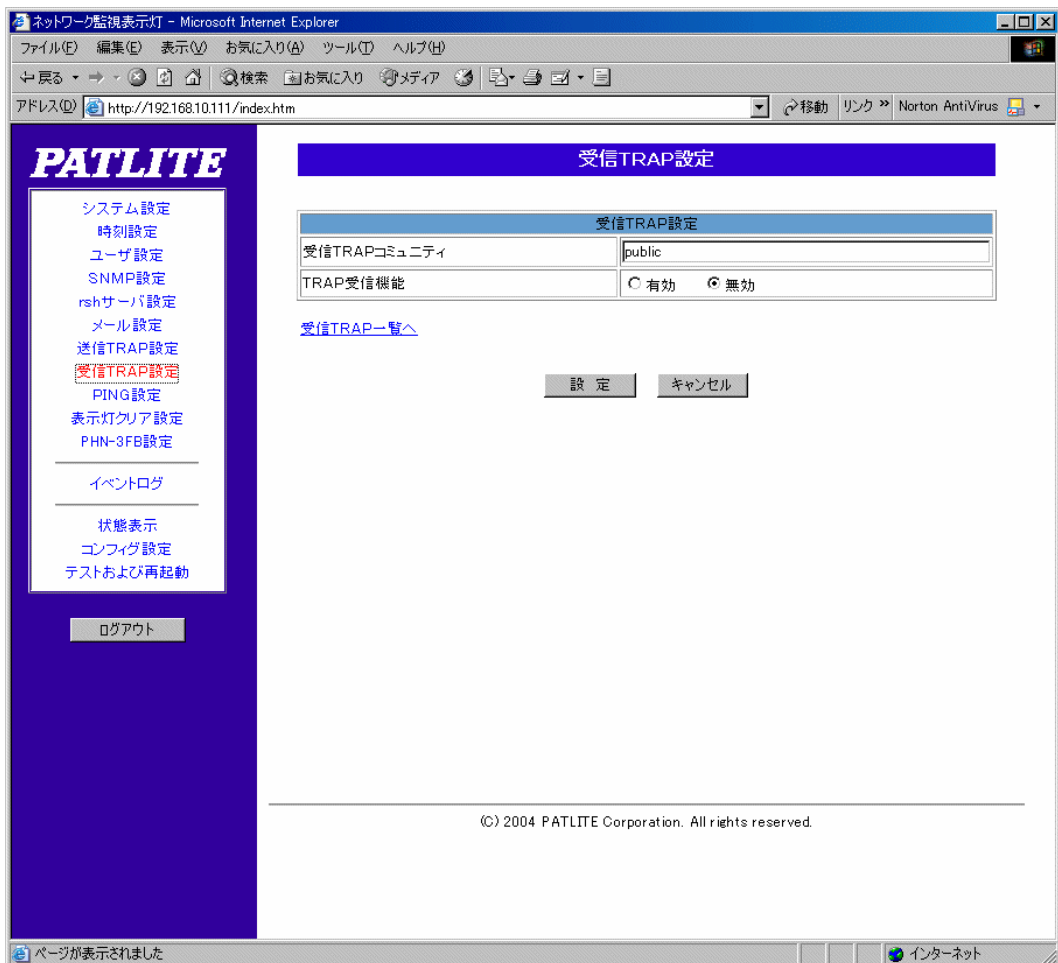
※1 入力制限：最大31文字。

入力可能文字：半角の英数字

●送信TRAPの詳細については、末項の「補足マニュアル（SNMP TRAP送信OID一覧）」をご参照ください。

5-11 受信TRAP設定画面

本機器は、ネットワーク経由で外部からのSNMP TRAPを受信することで表示灯およびブザーを制御することができます。



画面の説明		
受信TRAP設定	受信TRAPコミュニティ (※1)	外部から受信するTRAPのコミュニティを設定します。異なるコミュニティのSNMP TRAPは、無視します。 デフォルト値：“public”
	TRAP受信機能	本機能の有効・無効を設定します。無効に設定している場合は、一切のSNMP TRAPを受信しません。 デフォルト値：「無効」
	受信TRAP一覧へ	「受信TRAP一覧へ」をクリックすると受信TRAP一覧画面が表示されます。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※1 入力制限： 最大 31 文字。
入力可能文字： 半角の英数字

5-12 受信TRAP一覧画面

現在設定されているSNMP TRAP受信の設定一覧が表示されます。設定は、最大16件まで設定できます。画面には、最大8件まで表示されます。

The screenshot shows a web browser window titled 'ネットワーク監視表示灯 - Microsoft Internet Explorer'. The address bar shows 'http://192.168.10.111/index.htm'. The main content area is titled '受信TRAP一覧' and contains a table with the following data:

No.	TRAP番号	TRAP名
1	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.1	
2	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.2	
3	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.5	
4	.1.3.6.1.2.1.33.2.1	
5	.1.3.6.1.2.1.33.2.3	
6	.1.3.6.1.2.1.33.2.4	
7		
8		

Below the table, there is a link: [No.9からNo.16へ](#). Below that, a note says: 'Noをクリックすると受信TRAPとTRAP受信時の動作設定が行えます。' At the bottom, there is a copyright notice: '© 2004 PATLITE Corporation. All rights reserved.'

画面の説明	
No.	“No.” をクリックすると、受信TRAP設定画面が開きます。この一覧に表示されるTRAP番号やTRAP名を設定することができます。
TRAP番号	受信するTRAPのID (MIBオブジェクトID) を表示します。このIDにより、TRAP送信元で発生しているイベント内容を識別します。
TRAP名	受信するTRAPの意味 (内容) を表示します。
No. 9 から No. 16 へ (No. 1 から No. 8 へ)	No. 9～16の設定を行いたい場合、「No. 9からNo. 16へ」をクリックして画面を切り替えてください。 戻るときは、同様に「No. 1からNo. 8へ」をクリックしてください。

<工場出荷設定TRAPについて>

工場出荷設定では、下記のTRAP登録済みです。

ただし、表示灯・ブザーの制御、メール・TRAPの送信設定は、無効になっていますので、必要時に、設定を行ってください。

画面の説明		
No.	オブジェクトID	TRAP内容
No. 1	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.1	Cold Start (起動)
No. 2	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.2	WarmStart (初期化)
No. 3	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.5	AuthenticationFailure (セキュリティ違反)
No. 4	.1.3.6.1.2.1.33.2.1	UPS停電
No. 5	.1.3.6.1.2.1.33.2.3	UPS故障追加
No. 6	.1.3.6.1.2.1.33.2.4	UPS故障解除もしくは復電



上記登録済みTRAPは、TRAPを発信する機器により、意味が異なります。

詳細は、発生機器のTRAP内容を記載している取扱説明書を参照するか、それぞれのメーカーにお問い合わせしてください。

5-13 受信TRAPイベント設定画面

受信TRAP一覧画面でNo. をクリックすると表示されます。
受信TRAPの種類およびTRAP受信時の動作の詳細を設定します。

画面の説明		
TRAP監視設定 No. ~	TRAP番号	外部から受信するTRAPの種類 (MIBオブジェクトID) を指定します。 (※1)
	TRAP名	TRAP番号の意味 (内容) がわかるように名前を登録します。(一覧表示画面に表示されます。) 入力文字制限: 31文字以内の半角英数字、または、15文字以内の日本語
	IPアドレス	TRAP受信を許可する送信元のIPアドレスを指定します。 (※1)



※1 TRAP番号を登録し、IPアドレスを指定しなかった場合、送信元のIPアドレスに関わらず、登録されたTRAPを受信します。
また、IPアドレスを登録し、TRAP番号を指定しなかった場合、登録したIPアドレスの機器から送信されるすべてのTRAPを受信します。
ただし、これらの設定は、本装置に非常に負荷のかかる設定になります。
なるべく、TRAP番号とIPアドレスの両方を設定するようにしてください。

画面の説明		
TRAP受信時の動作設定	赤、黄、緑、青、白	<p>指定したTRAP受信時の取り付けられた色の動作設定を行ってください。</p> <p>取り付けられていない色の設定を行っても状態は変化しません。</p> <p>消灯：指定色の表示灯を消します。 点灯：指定色の表示灯を点灯させます。 点滅：指定色の表示灯を点滅させます。 変化なし：指定色の表示灯は、現状のまま変化しません。</p>
	ブザー	<p>ブザー音の動作設定を行います。</p> <p>消音：現在鳴っているブザーを止めます。 吹鳴パターン1：パターン1でブザーを鳴らします。 吹鳴パターン2：パターン2でブザーを鳴らします。 変化なし：現状のまま変化しません。</p> <p>パターン1：ピピピピピピ パターン2：ピーピーピー</p>
	メール	<p>有効に設定すると指定TRAP受信時にメールを送信します。実際のメール通知先等の設定は、「5-8 メール設定」画面で行います。無効の場合は、送信しません。</p>
	TRAP	<p>有効に設定すると指定TRAP受信時にTRAPを送信します。</p> <p>送信先は、「5-10 送信TRAP設定」で行います。無効の場合は、送信しません。</p>
	受信TRAP一覧へ	<p>受信TRAP一覧画面に戻ります。</p> <p>他のTRAP送信元を設定する場合、受信TRAP一覧画面に戻ってから登録する「No.」をクリックしてください。</p>
設定ボタン	<p>入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。</p>	

5-14 P I N G 監視一覧画面

ネットワークに接続されたサーバやネットワーク機器の死活監視（P I N G 応答要求）を行う場合に設定します。異常時に、表示灯とブザーによる通知を行えます。また、電子メールやSNMP T R A Pを送信することも可能です。

「P I N G 設定」メニューを選択すると、「P I N G 監視一覧」画面が表示されます。



画面の説明	
P I N G 監視一覧	登録されている監視対象が一覧表示されます。最大で16台までの監視対象を登録することができます。
No. ~	新たに監視対象を追加したい場合は、空白行の先頭の「No.」をクリックしてください。 すでに登録されている監視対象に関する情報を編集したい場合は、その行の先頭の「No.」をクリックします。
I P アドレス	監視対象の I P アドレスを表示します。 P I N G 監視設定画面で登録します。
装置名	監視対象機器名を表示します。 P I N G 監視設定画面で登録します。
No. 9 から No. 16 へ (No. 1 から No. 8 へ)	No. 9~16の設定を行いたい場合、「No. 9からNo. 16へ」をクリックして画面を切り替えてください。 戻るときは、同様に「No. 1からNo. 8へ」をクリックしてください。

5-15 P I N G 監視設定画面

P I N G 監視に関する詳細設定を行います。

P I N G 異常発生時、異常解除時の表示灯・ブザーの動作設定やメール・T R A P の送信設定を行います。

画面の説明		
P I N G 監視設定 No.	I P アドレス	監視対象の I P アドレスを指定します。
	装置名	監視対象を識別するための名前を付けることができます。(※1)
	送信回数	P I N G 応答の異常判定回数 (0~30) を指定します。P I N G 応答が連続してこの回数分なければ、監視対象は異常と見なされません。この値が0の場合、P I N G 監視を行いません。
P I N G 異常検出時の動作設定	P I N G 異常発生時と異常解除時の動作についてそれぞれ設定を行います。 選択肢項目の意味については、「5-13 受信 T R A P イベント設定」の T R A P 受信時の動作設定を参照してください。	
P I N G 監視一覧へ	P I N G 監視一覧画面に戻ります。 他の監視対象を設定する場合、P I N G 監視一覧画面に戻ってから登録する「No.」をクリックしてください。	
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※1 入力制限： 最大 31 文字。

入力可能文字： 半角の英数字、アンダースコア（`_`）、ハイフン（`-`）、
アットマーク（`@`）、ピリオド（`.`）

注意：PING 応答要求の送信間隔は 60 秒（固定）です。

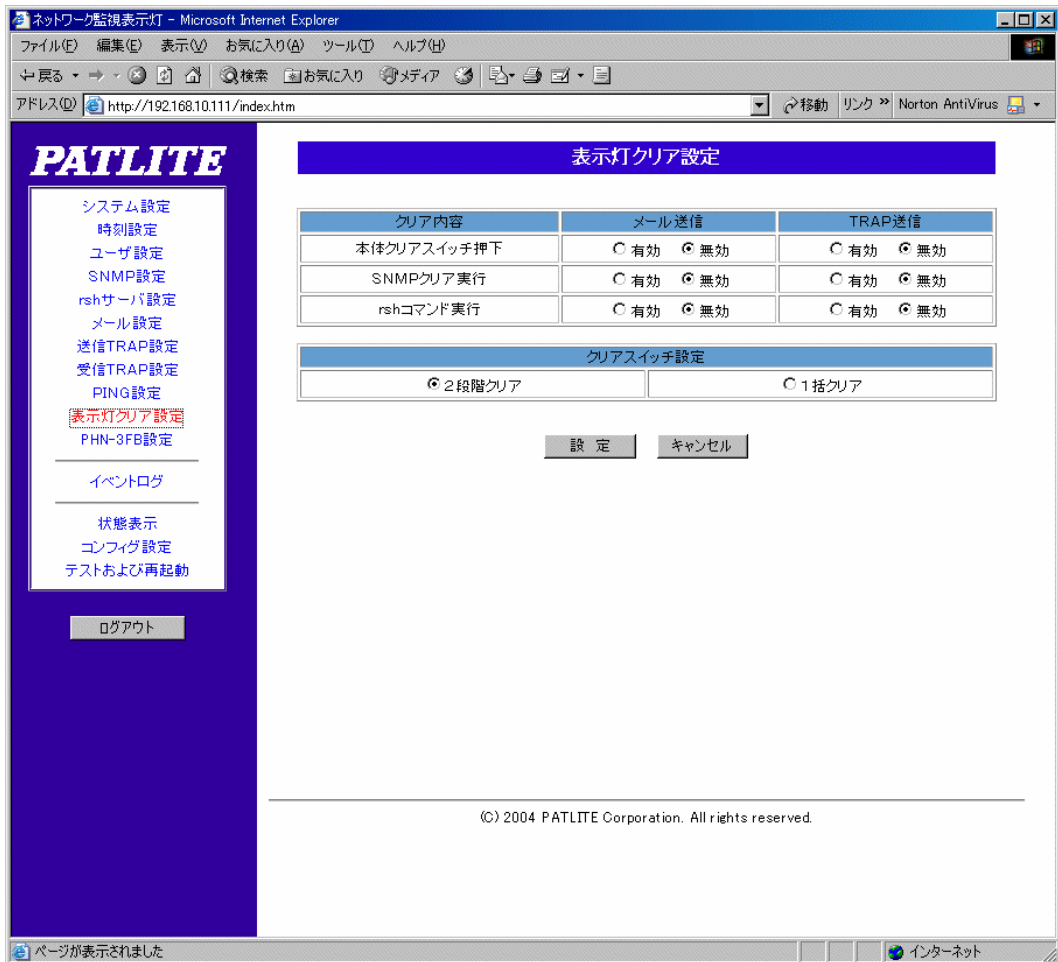
注意：異常発生によって変化した表示灯やブザーの状態は、「CLEAR」ボタンで CLEAR できます。ただし、異常状態が継続している場合は、再び異常検出し、表示灯やブザーが異常状態を表示します。

5-16 表示灯クリア設定画面

表示灯の点灯、点滅を消灯させたり、ブザー音を停止させるためには、本体のCLEARスイッチ押下、SNMPによる制御、rshコマンド実行の3つの方法があります。

ここでは、それぞれのCLEAR処理が実行された時に、メール送信やTRAP送信による通知の有無を設定します。

また、本体のCLEARスイッチの働きを選択することができます。



画面の説明	
本体クリアスイッチ押下	本体クリアスイッチ押下時のメール送信、TRAP送信の有効・無効を選択します。
SNMPクリア実行	SNMP SETにより、クリア実行された時のメール送信、TRAP送信の有効・無効を選択します。
rshコマンド実行	rshコマンドにより、クリア実行された時のメール送信、TRAP送信の有効・無効を選択します。

MEMO

メール送信先の設定は、「5-8 メール設定」画面にて行い、TRAP送信先の設定は、「5-10 送信TRAP設定」画面にて行います。

画面の説明	
クリアスイッチ設定	<p>本体CLEARスイッチを押下した時の動作を下記、2種類から選択します。</p> <p>2段階クリア： 1回目にブザー音のみ停止し、2回目で表示灯を消灯させます。</p> <p>一括クリア： 1回押下すると、ブザー音を停止するとともに、表示灯も消灯させます。</p>
設定ボタン	<p>入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。</p>



本体CLEARスイッチにより、表示灯のクリア処理を実行する場合、スイッチを0.5秒以上長押ししてください。

スイッチ復帰後約2秒以上あけなければスイッチ押下しても動作しません。

5-17 PHN-3FB 設定設定画面

本機器は、株式会社パトライト社製 PHN-3FB 型の制御コマンドを受け付けるように作られています。「PHN-3FB 設定」メニューを選択すると、「PHN-3FB コントロールポート設定」画面が表示されます。

ここでは、PHN-3FB の制御コマンドとの通信に使うポート番号を指定します。



画面の説明		
PHN-3FB コントロールポート	ポート番号	PHN-3FB の制御コマンドとの通信に使うポート番号を指定します。(※1) この設定を反映させるためには、本体の再起動が必要です。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※1 入力制限： 10000～65535

5-18 イベントログ画面

本機器は、イベントログを残すことができます。

保持できる最大ログ件数は256件です。

最新のイベントログから順に表示され、256件を超える古いログは順次削除されます。

また、保持しているイベントログは、電源が切れたり、RESETスイッチを押したりすると、すべて消去されますのでご注意ください。



イベントログ画面はJ A V Aを使用しています。画面が表示されない場合はJ A V Aがインストールされているか、W e bブラウザのJ A V Aの機能が有効になっているか確認してください。

画面の説明	
発生時刻	イベントが発生した時刻を表示します。
イベント	発生したイベント名を表示します。
イベント内容	発生したイベントの概要を表示します。

イベントの詳細については、次項「イベント一覧」を参照してください。

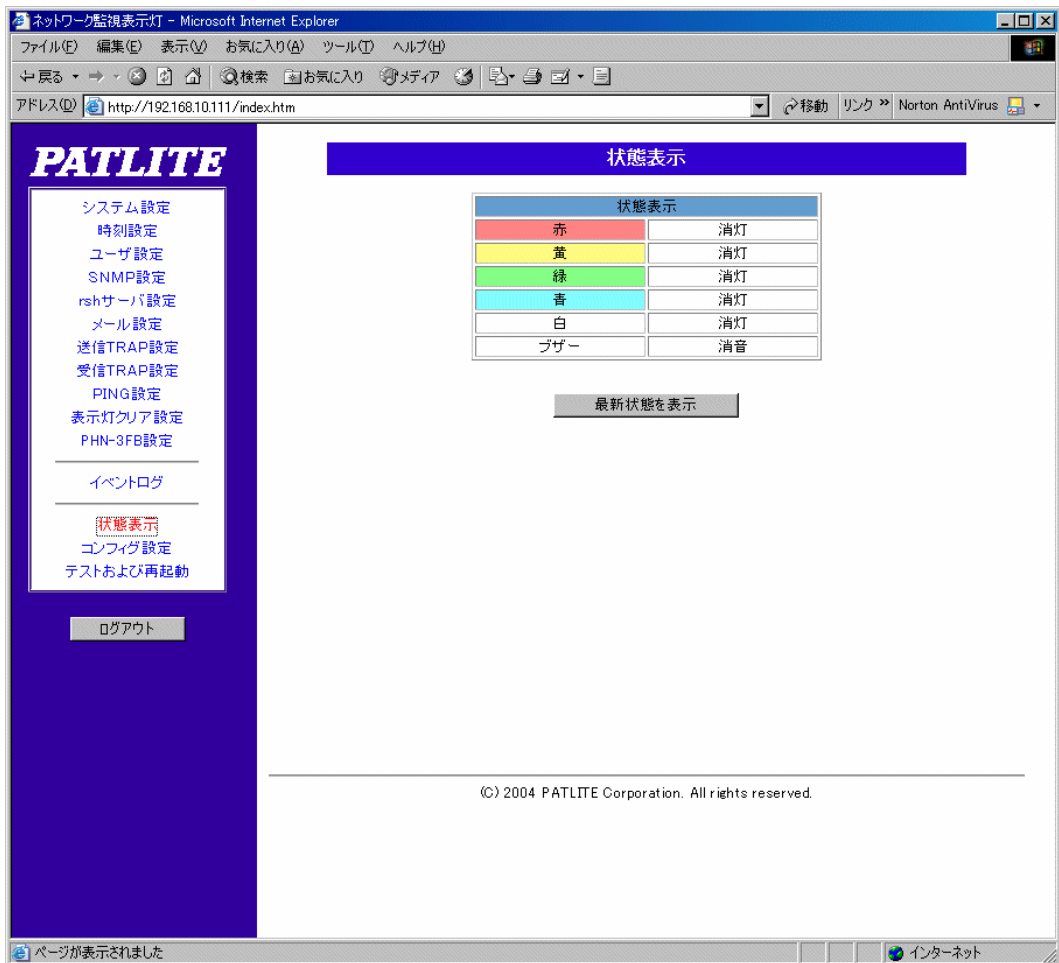
<イベント一覧>

イベントの種類		イベントログ表示	
		イベント	イベント内容
本体電源 ON		coldStart	表示なし
不正アクセス		ACCESS	表示なし
メール送信 エラー	通信タイムアウト	MAIL	“通信タイムアウト”
	サーバ接続失敗		“サーバ接続失敗”
	POP認証失敗		“POP認証失敗”
死活監視 (PING監視)	無応答	PING	“PING監視異常”の表記と共にサーバのIPアドレスを表示。
	応答再開		“PING異常解除”の表記と共にサーバのIPアドレスを表示。
TRAP受信		TRAP	“TRAP受信”の表記と共に受信TRAP設定画面の設定番号を表示。
表示灯クリア	本体スイッチ	CLEAR	“本体スイッチ”
	SNMP		“SNMP”の表記と共にIPアドレスを表示
	rsh		“RSH”の表記と共にIPアドレスを表示
rshコマンド	alert	RSH	“アラート”の表記と共にコマンドの引数とrsh設定画面の接続許可制限の番号を表示。
	status		“ステータス”
	test		“テスト”
SNMP制御		SNMP	“CONTROL”の表記と制御した表示灯の色（または、ブザー）と制御元のIPアドレス

(注) イベントログは自動的に記録されたものを表示・閲覧するだけで、イベント内容等の編集・変更はできません。

5-19 状態表示画面

本機器は、表示灯とブザーの状態をブラウザ上でも確認することができます。

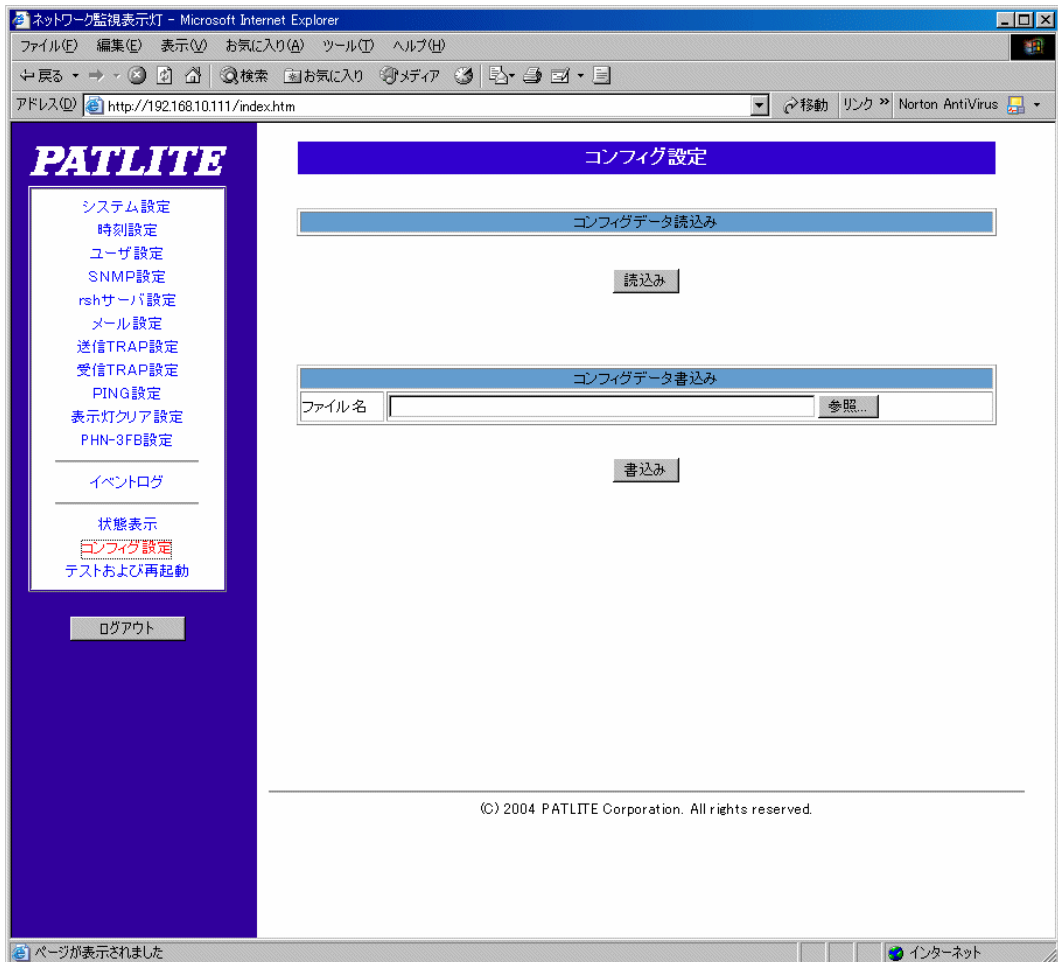


画面の説明		
状態表示	赤、黄、緑、青、白	各色（赤、黄、緑、青、白）の表示灯の状態（消灯、点灯、点滅）を表示します。 実際には、使用されていない色の状態も常に表示されます。
	ブザー	ブザーの状態（消音、吹鳴パターン1、吹鳴パターン2）を表示します。
最新状態を表示	「最新状態を表示」ボタンをクリックすると、表示内容が最新の状態に更新されます。	

(注) 実際に使用されていない色がある場合、点灯・点滅の表示がされる場合があります。これは、過去に使用されていない色を点灯・点滅する命令が発せられたことが本機器の状態表示の記憶部分に記録されているためです。対応策としては、使用されていない色に対しては点灯・点滅の命令を送らないように、再度確認をしてください。

5-20 コンフィグ設定画面

本機器は、本体に設定された情報（コンフィグデータ）をコンピュータ側に読み込み（保存し）、保存した設定情報を本体に書き込むことができます。
この機能により、初期化してしまった場合、以前の状態に復帰させたり、同様の設定を別の表示灯に設定することができます。
ただし、IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびログインパスワードの設定情報は保存および書き込みを行いません。



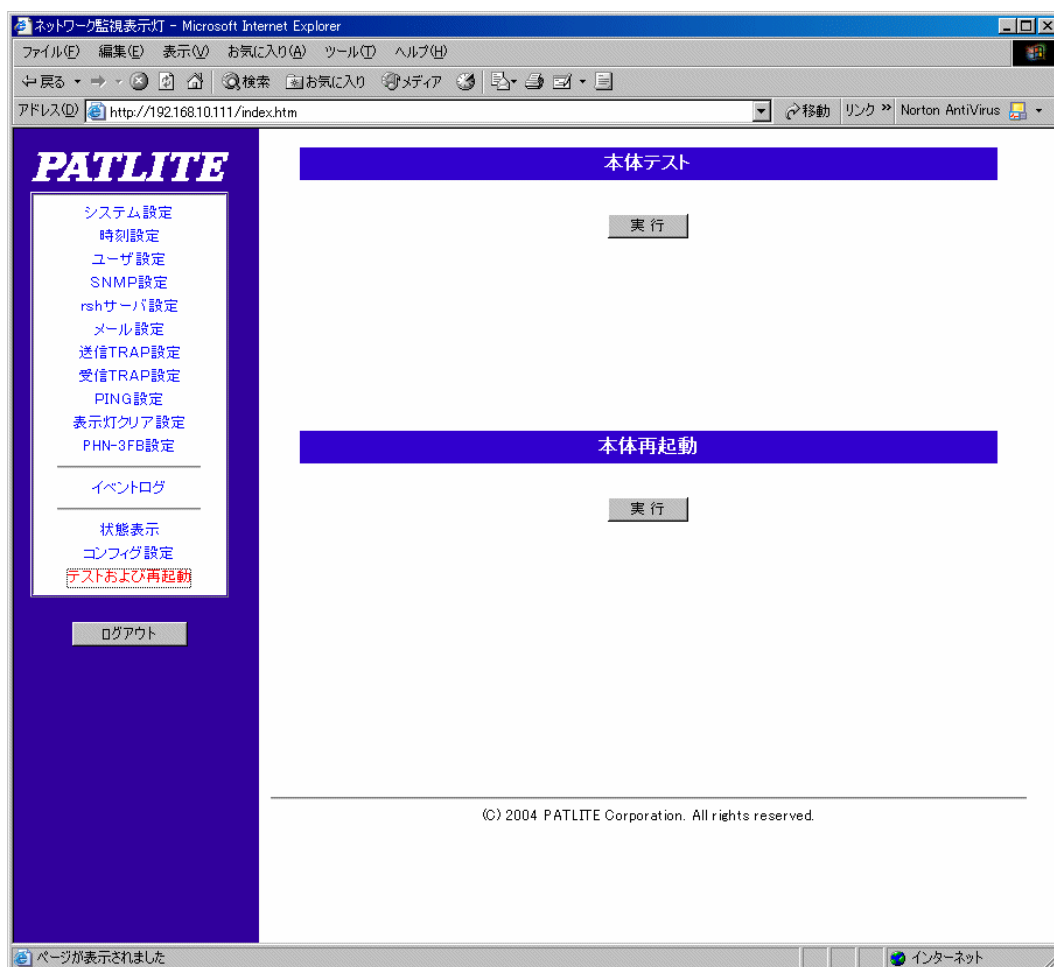
画面の説明		
コンフィグデータ読み込み	読み込みボタン	接続中の表示灯から設定情報を読み込みます。設定情報（ファイル）の保存先のフォルダをあらかじめ作成した後保存してください。
コンフィグデータ書き込み	ファイル名	コンフィグデータの読み込みを行い、保存したファイル名を指定します。
	参照ボタン	設定情報（ファイル）を探すときに利用してください。
	書き込みボタン	「ファイル名」欄で指定したファイル（設定情報）を表示灯に書き込みます。



「コンフィグデータ読み込み」機能を使って保存したファイルを編集して書き込みを行った場合は保証できません。コンフィグデータ以外のデータ（ファイル）を書き込んではいけません。また、データの書き込み中に、Webブラウザからアクセスすると、正常に、データ更新できない場合がありますので、その場合は、再度、書き込みをやり直してください。書き込み後は自動的に再起動されます。

5-21 テストおよび再起動画面

「テストおよび再起動」メニューを選択すると、「本体テスト」および「本体再起動」画面が表示されます。



画面の説明	
本体テスト	<p>本体テストの「実行」ボタンをクリックすると、本機器のセルフテストが実施されます。</p> <p>表示灯が赤⇒黄⇒緑⇒青⇒白の順に点灯し（LEDユニットが装着されている場合）、ブザーが鳴ります。</p> <p>本体スイッチ、rsh、SNMPにより、クリア処理が実行されるまで、この状態を保持します。</p>
本体再起動	<p>本体再起動の「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。</p> <p>注意：本体再起動を行うと、装置時刻は初期化され、イベントログは全て消去されます。</p> <p>注意：再起動には2分程度の時間がかかります。再起動後は、Web接続が切断されますから、必要に応じてログインし直してください。</p>

6

6-1 rshコマンド一覧

rshコマンドにより表示灯を制御する方法について説明します。

コマンド一覧

- | | | |
|-----|---------------|-----------------|
| (1) | alert | 表示灯とブザーの制御 |
| (2) | status | 状態取得 |
| (3) | clear | 表示灯の消灯およびブザーの停止 |
| (4) | test | 動作テスト |

6-2 コマンドリファレンス

rshコマンド入力方法

```
# rsh IP_Address [-l login_name] Command [options]
```

- (1) 表示灯とブザーの制御：**alert rygbcz [sec]**

表示灯とブザーの状態を変化させます。

コマンド実行後の表示灯とブザーの状態を標準出力に戻します（参照：**status** コマンド）。

オプション説明：

種類	説明
rygbcz	表示灯の点灯/点滅、ブザーの吹鳴/停止の制御
r	赤色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
y	黄色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
g	緑色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
b	青色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
c	白色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
z	ブザーの消音(0)、吹鳴パターン1(1)、吹鳴パターン2(2)、変化せず(9)
sec	sec 秒後に表示灯とブザーをコマンド実行前の状態に復旧させる。0~99 の整数が定義可能であり、0 または省略時はコマンド実行前状態に復旧しない。

使用例：

●赤色点灯、他は変更なし
<pre>rsh 192.168.10.1 -l root alert 199999</pre>
●赤色消灯、黄色点滅ブザー吹鳴パターン1
<pre>rsh 192.168.10.1 -l root alert 029991</pre>
●緑色点灯後、30 秒後に実行前の状態に戻る
<pre>rsh 192.168.10.1 -l root alert 991999 30</pre>

(2) 状態取得 : **status**

現在の表示灯とブザーの状態を標準出力に返します。

返値説明 :

rygbcz	表示灯色 (r:赤, y:黄, g:緑, b:青, c:白) とブザー (z) の順番を表す
各色 (rygbc) の状態	消灯 (0)、点灯 (1)、点滅 (2)
ブザー (z) の状態	消音 (0)、吹鳴パターン 1 (1)、吹鳴パターン 2 (2)

(3) 表示灯クリアー : **clear [-p] [-z]**

表示灯とブザーの状態を初期状態に戻します。

オプション説明 :

種類	説明
-p	表示灯の消灯 (全消灯)
-z	ブザーの停止 (消音)
なし	表示灯の消灯およびブザーの停止

(4) 動作テスト : **test**

システムの機能テストを行います。

テストフロー :

- ① rygbc の順に点灯
- ② ブザー吹鳴
- ③ CLEAR スイッチを押下するまで、点灯・吹鳴を続ける。

※rsh などコマンドを使用しての解除動作は行えません。

7

SNMP エージェント機能

7-1 SNMPエージェント機能

- ・本機器はSNMPエージェント機能を実装しております。
- ・SNMP GET、SETに対する応答機能、SNMP TRAP送信機能を有しています。
- ・SNMPのバージョンはSNMP V2Cですが、GETBULK、BULKWALKは実装していません。
- ・本機器は標準MIB（MIB-2：sys、if、at、ip、icmp、tcp、udp、snmpの各グループ）および弊社独自の専用表示灯制御MIBを搭載しております。専用表示灯制御MIBを用いることにより、本機器の状態を取得したり、表示灯の点灯・消灯を制御したりすることができます。
- ・デフォルトのコミュニティ名は以下の通りです。

コミュニティ種類	説明	デフォルト値
GET	SNMP GET要求時に使用するコミュニティ名	public
SET	SNMP SET要求時に使用するコミュニティ名	private
TRAP	SNMP TRAP送信時に使用するコミュニティ名	public

7-2 SNMP SETによる制御

SNMP SETコマンドにより本体設定情報を変更したり、表示灯およびブザーを制御したりすることができます。

制御可能なMIBの詳細は、購入者専用サイトからダウンロードをおこない、参照してください。

ここでは表示灯の点灯・消灯およびブザー吹鳴・停止の制御例を示します。

使用例 1：赤色の点灯

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.1	2
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.1	0

使用例 2：赤色消灯、5 秒後に黄色点滅、10 秒後にブザー吹鳴パターン 1

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.1	1
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.2	3
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.6	2
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.1	0
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.2	5
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.6	10

使用例 3：表示灯クリア

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightSnmpClear	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.3.0	1

8

補修部品

8-1 補修部品一覧

お求めの際は、取扱説明書「1-3 外観と各部の名称」を参照のうえ、
お買い求めの販売店へお問い合わせください。

NHE型

No	品名	部品番号
⑧	ヘッドカバー	B32310020-F1
⑨	センターネジ5段	S33552110-03166F1
⑨	センターネジ4段	S33552110-03138F1
⑨	センターネジ3段	S33552110-03106F1
⑨	センターネジ2段	S33552110-0376F1
⑨	センターネジ1段	S33552110-0346F1
⑩	カバーシール	T93190007-F1
⑪	LEDユニット赤色	B72100098-1F1
⑪	LEDユニット黄色	B72100098-2F1
⑪	LEDユニット緑色	B72100098-3F1
⑪	LEDユニット青色	B72100098-4F1
⑪	LEDユニット白色	B72100098-7F1
⑫	ゴム足	T81800007-F1
—	ACアダプター	Z69433012-F1

NHC型

No	品名	部品番号
⑩	カバーシール	T93190007-F1
⑫	ゴム足	T81800007-F1
—	ACアダプター	Z69433012-F1

NHM型

No	品名	部品番号
⑧	ヘッドカバー	B32310022-F1
⑨	センターネジ5段	S33552120-04225F1
⑨	センターネジ4段	S33552120-04180F1
⑨	センターネジ3段	S33552120-04140F1
⑨	センターネジ2段	S33552120-04100F1
⑨	センターネジ1段	S33552120-0455F1
⑩	カバーシール	T93190007-F1
⑪	LEDユニット赤色	B72100118-1F1
⑪	LEDユニット黄色	B72100118-2F1
⑪	LEDユニット緑色	B72100118-3F1
⑪	LEDユニット青色	B72100118-4F1
⑪	LEDユニット白色	B72100116-7F1
⑫	ゴム足	T81800007-F1
—	ACアダプター	Z69433012-F1

9

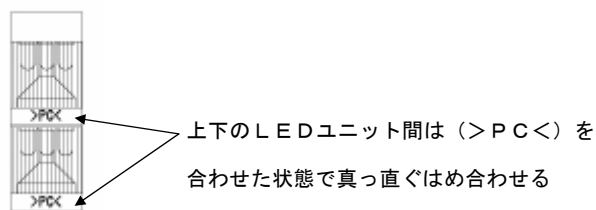
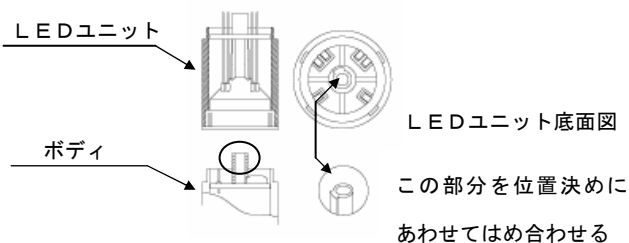
色配列組替え方法



9-1 色配列組替え方法

N H E 型

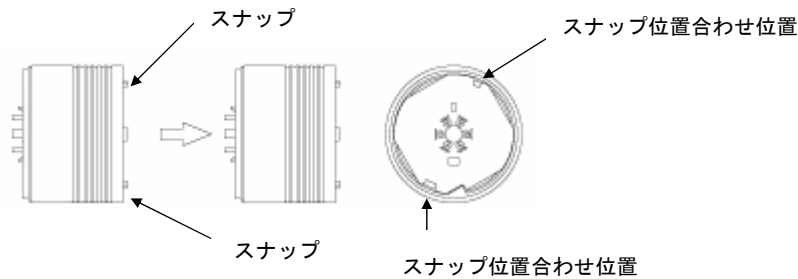
- ・ 組み替え作業は、必ず電源を切ってからおこなってください。
- ・ ヘッドカバーの中心にあるカバーシールを剥がし、中央にあるセンターネジをゆるめて、ヘッドカバーをはずしてください。
- ・ 上下のLEDユニット間はスナップにより位置決めされているので、スナップ位置を合わせておこなってください。
※LEDユニット表面の刻印 (>PC<) を合わせる要領でおこなってください。
- ・ 最下段のLEDユニットは本体中央にある支柱とLEDユニットの中央部の位置決めを合わせておこなってください。
- ・ 増段・減段をおこなう場合は、段数にあわせてセンターネジの変更も必要になります。センターネジは、補修部品一覧表をご参照ください。
- ・ LEDユニットを組みあげたあとは、段数にあわせたセンターネジでヘッドカバーの上から締めてください。その際、カバーシールを元の位置に貼ってください。
- ・ 1台の中で同色LEDユニットを使用した場合は同時に点灯します。
- ・ 同色のLEDユニットは、1台あたり3段までしか組み合わせはできません。



- ・ 無理なLEDユニットの脱着はおこなわないでください。破損する恐れがあります。
- ・ LEDユニット及び本体にある電極ピンに無理な力をかけないでください。電極ピンが曲がり、接触不良やショートの原因になります。

NHM型

- ・ 組み替え作業は、必ず電源を切ってからおこなってください。
- ・ ヘッドカバーの中心にあるカバーシールを剥がし、中央にあるセンターネジをゆるめて、ヘッドカバーをはずしてください。
- ・ 上下のLEDユニットは2本のスナップにより位置決めされているので、スナップ位置を合わせておこなってください。
※LEDユニット表面の刻印(>SAN<)を合わせる要領でおこなってください。
- ・ LEDユニットを増段・減段をおこなう場合は、段数にあわせてセンターネジの変更も必要になります。センターネジは、補修部品一覧表をご参照ください。
- ・ LEDユニットを組みあげたあとは、段数にあわせたセンターネジでヘッドカバーの上から締めてください。その際、カバーシールを元の位置に貼ってください。
- ・ 1台の中で同色LEDユニットを使用した場合は同時に点灯します。
- ・ 同色のLEDユニットは、1台あたり3段までしか組み合わせはできません。



- ・ 無理なLEDユニットの脱着はおこなわないでください。破損する恐れがあります。
- ・ センターネジをゆるめた状態でLEDユニット・ヘッドカバーがはずれやすいため、落下し破損することのないよう取扱いに注意してください。
- ・ LEDを手でゆがめたり、破損させないようにしてください。

製品サポートについては、下記にて受け付けております。

技術相談窓口:  **0120-497-090** FAX 079-568-6604
受付9:00~17:00(土・日・祝日は留守番電話による対応)

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IPアドレスなどの本体諸設定情報は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。

世界中に「安心・安全・楽々」をお届けする
株式会社 **パトライト** Y2X-改

PATLITE Corporation

本社	/ 〒542-0067	大阪市中央区松屋町8-8	
東京	/ 〒104-0033	東京都中央区新川2-12-15	TEL. 03(5541)6711
仙台	/ 〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡3-7-35	TEL. 022(256)5656
関東	/ 〒330-0845	さいたま市大宮区仲町3-13-1	TEL. 048(640)2020
横浜	/ 〒222-0033	横浜市港北区新横浜2-6-13	TEL. 045(473)1118
名古屋	/ 〒461-0004	名古屋市東区葵3-15-31	TEL. 052(934)2211
大阪	/ 〒542-0067	大阪市中央区松屋町8-8	TEL. 06(6763)8800
広島	/ 〒733-0011	広島市西区横川町2-9-1	TEL. 082(297)2277
福岡	/ 〒812-0039	福岡市博多区冷泉町5-35	TEL. 092(686)7333
北海道	/ 〒060-0001	札幌市中央区北1条西9-3-10	TEL. サテライトオフィス

International Division Sales & Marketing Department
Division Internationale Département De Vente & Marketing
8-8 Matsuya-machi, Chuo-ku, Osaka 542-0067 JAPAN TEL. +81-6-6763-8220

PATLITE (U.S.A.) Corporation
20130 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A. TEL. +1-310-328-3222


PATLITE (SINGAPORE) PTE LTD
No.2 Leng Kee Road, #05-01 Thye Hong Centre, Singapore 159086 TEL. +65-6226-1111

PATLITE (CHINA) Corporation
Room 512, Jufeng Business Building, No.697-3 Lingshi Road, Shanghai 200072, China TEL. +86-21-6630-8969

PATLITE Corporation/European Office
Teinfaltstrasse 8/4 Stock, 1010, Vienna, Austria TEL. +43-1-961-0655

※電話番号などは、変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

<http://www.patlite.co.jp>

受付時間 9:00~17:00 (無料) ●技術相談窓口  **0120(497)090** シグナル オフレ FAX. 079(568)6604
土/日/祝日と夏期/年末年始の休日は、留守番電話でお受けいたします。※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または代理店にお問い合わせください。

NHシリーズ SNMP送信TRAP番号(ObjectID) 一覧

TRAP要因	TRAP名	TRAP番号
PING異常が発生した時	trapPatliteAlarmAdded	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.1
PING異常が回復した時	trapPatliteAlarmRemoved	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.2
TRAPを受信した時	trapPatliteTrapReceived	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.3
CLEARボタンを押し下げた時	trapPatliteClearExecuted	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.4
RSHコマンドを実行した時	trapPatliteRshExecuted	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.5
システムが起動(初期化)した時	coldStart	genericTrap:0
間違ったコミュニティ名を持つ SNMPメッセージを受け取った時	authenticationFailure	genericTrap:4